

単元名 音のスケッチ(3)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組み合わせの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けることができる。
- (2) 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることができる。
- (3) 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070305_001

【教材名】音のひびきや組み合わせを楽しもう

(P. 58～P. 59)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～3 音楽の構成や仕組みを考えながら、まとまりのある音楽をつくる。</p> <p>★音のひびきや組み合わせを楽しもう</p> <p>○打楽器を材質ごとに仲間分けする。</p> <p>○自分が選んだ打楽器でどんな音が出るのかを確かめる。</p> <p>・教師が示す条件を基にして即興的に表現したり、その場で試したり、友達と交流したりする。</p> <p>○カードを選んで音で表現する。</p> <p>・自分が選んだ楽器の材質や響きを手掛かりにして、提示されたカードから1枚選んで表現する。</p> <p>○同じ材質で集まったグループで音をつないで演奏する。</p> <p>また、一人だけ別の材質のグループと奏者を入れ替え、違いを感じ取る。</p> <p>○音楽の構造や重ねるなどの音楽の仕組みを考えながら、まとまりのある音楽をつくる。</p>	<p>・教師が材質ごとに分けておくのではなく、児童の気付きを引き出すために、児童が仲間分けしていくようにする。</p> <p>・一人ずつ別々の打楽器を選ぶこともあるので打ち方を変えたり、ばちを変えたりして様々な音の出し方を試したら、そこでの気付きを全体で共有しておく。そうすることで、グループでつなげるときにも活用することができる知識となる。</p> <p>【共通事項】音色</p> <p>【評】いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて表現する活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・この教材は、音楽づくりの示す「音を音楽へと構成する活動」ではなく、「即興的に表現する活動」として位置付けている。そのため「カードを選ぶ／組み合わせる」や「4人でつなげる」なども活動の条件として適切に設定するようにする。</p> <p>・この音楽づくりは「拍を意識しない」方が望ましい。そのため、カードを選んで表現するときも、無理に拍に合わせて表現しなくてもいいことを伝えておく。</p> <p>【共通事項】強弱</p> <p>【評】打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、即興的に表現する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】発想を生かした表現をするために必要な設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する活動を通して「技能」を評価する。</p> <p>【評】打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら音楽づくりをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】